

2022年度 岡本ゼミ紹介

■担当者：岡本 聡

■専門分野：近世文学。和歌・俳諧。

❖対象領域

古典文学（主に中世、近世）の文学作品。

散文(御伽草紙、仮名草紙、浮世草紙)、韻文(和歌、俳諧)

❖演習・ゼミの内容

・日本文学演習A B

『西鶴諸国ばなし』を各自で調べて発表する。語釈、典拠、現代語訳などをしていただく。調べる箇所によっては、中部大学の図書館だけではなく、鶴舞図書館をはじめ、他の図書館にも調査に行く事もある。

❖卒業研究

各自のテーマに沿って卒業論文を仕上げてください。

❖主な卒業論文のテーマ

「地獄の概念に関する考察」「沙石集における死生観」「豆腐小僧考」「『信長公記』に見る織田信長像一本能寺の変を中心にして」「金森宗和研究」「日本の妖怪に関する研究」「自来也(児雷也)像の変遷」「『五輪書』研究」「桃太郎の変遷」「付喪神論」「百鬼夜行の研究」「見るなのタブーの研究ーグリム童話と比較してー」「茨木童子研究」「花札に隠された意志」「異類婚についてー狐女房を中心にしてー」「謡曲「鉢木」に見るおもてなしのあり方」「中世近世における異類婚姻譚について」「明恵『夢記』考」「橘千蔭の文芸活動」「義経伝説と『義経記』」「江戸時代の花魁の存在ー「高尾太夫」考」「からくり考」「『西郷南洲翁遺訓』に見る江戸の終焉」「雨月物語の女性たち」「しのだづま成立の背景」「ニホンオオカミ考」「神話から見る日本人の死と他界観」「男色の変遷」「貧乏神研究」「山東京伝の寛政期における黄表紙作品について」「人魚考」「忍者像の変遷」「精進料理考」「美少年像の変遷」「剣巻考」「古典と現代の恋歌の比較」など。

❖ゼミの特色

主に中世から近世の文学をテーマとして取り上げています。古典文学作品を読む事に興味がある人が選択していただくと嬉しいです。卒論のテーマについては、先輩達の卒論の題名を見てもわかる通り、古典作品そのものを対象とするもののみではなく、古典作品を絡めたテーマもあります。

❖面談

(場所) 岡本研究室 (25号館2階)

(日時) 火曜日5コマ、水曜日5コマ、木曜日4コマ、5コマ 金曜日全コマ

※他の日時でも、前にメール連絡をしてもらえれば可能な限り授業終了後に対応します。

❖連絡先 choshosi@gmail.com